令和 7 年 5 月 9 日公表

令和 6 年度 第 2 回八王子支社入札監視委員会定例会議議事録

開催日及び場所	令和 7 年 2 月 2 7 日 (木) 中日本高速道路株式会社 八王子支社 会議室	
出席委員 (敬称略。委員については、50音順。)	委員長：角田 淳 (弁護士) 委員：今川 奈緒 (茨城大学 人文社会科学部 准教授) 並木 則和 (工学院大学 教授) 村越 潤 (東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 教授) 吉田 純司 (山梨大学 工学部 教授)	
審議対象期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 9 月 3 0 日	
抽出案件	総件数 4 件	(備考)
工事 (一般競争入札)	1 件	
工事 (公募併用型指名競争入札)	1 件	
調査等 (簡易公募型競争入札)	1 件	
工事 (変更契約)	1 件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(別紙のとおり)	(別紙のとおり)
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	今回審議に付されたものについて、適正であることを確認した。	

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 入札・契約手続きの運用状況等の報告及び審議 本社契約審査部からの報告及び審議	
意見・質問	回 答
報告内容について意見等なし。	

2. 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
意見・質問	回 答
令和6年度第1回の定例会議において審議した低入札で契約した安房峠道路遠方監視制御設備更新工事のしゅん功時の状況を報告いただいたが、過去審議して履行中の案件3件についても適宜ご報告いただきたい。	承知しました。

3. 抽出案件の審議	
(1) 工事（一般競争入札：総合評価落札方式（簡易型）・見積協議方式・WTO対象）	
工事名：中央自動車道（特定更新等）北真志野第一高架橋他4橋床版更新工事	
意見・質問	回 答
<p>床版は補修等をするよりも交換の方が費用的に高くなると思うが、交換をするに至る判断基準等はあるのか。</p> <p>本件の技術評価点の優：30点、良：15点の違いは何か。</p> <p>ISOの取得有無で20点の差があり、かなり点数的に大きなウェイトを占めているという認識でよいか。</p> <p>個人的な意見だが、優：30点、良：15点ということで、ひとつ評価が違っただけで点数に大きな差が出るため、その中間の評価を取り入れてもい</p>	<p>電磁波による調査やクラックの発生状況、塩化物の含有量等から5段階評価を行い、床版の交換をするという判断をしました。</p> <p>施工計画の工夫において評価の差別化（優、良、可）をしているが、可については世間一般的に導入されているものを対象としています。その中でさらに工夫がみられるものには良、良よりもさらに上と判断できるものについては優として評価しています。また、これまで導入していない、新たな工夫の提案は、高い評価になります。</p> <p>なお、評価点は複数者で審議し総合的に判断しています。</p> <p>会社としての安全体制の評価ということで大きなウェイトを設定しています。</p>

いのではないかと感じた。	
(2) 工事 (公募併用型指名競争入札・見積協議方式・低入札価格調査)	
工事名：中部横断自動車道 甲府管内車線区画柵設置工事 (2023年度)	
意見・質問	回 答
<p>低入札価格調査にあたり、最近A Iに基準額を算出させたりする技術が進んでいると思うが、そういった取り組みを今後導入される可能性はあるのか。</p> <p>低入札の場合、一般管理費が管理基準より低いけれども、他の工事から余剰利益を持ってくるといふ理屈はおかしいのではないかと。本件についてはいいのだが、他の工事でぎりぎりの状態で履行することになるので、そのような理屈はおかしいと思うがいかがか。</p>	<p>現在、契約制限価格については、当社の積算要領や国土交通省の基準等を用いて算出しています。今後はA Iなどで対応できる時代になるかもしれませんが、現時点では積算要領などに基づいて算出している状況です。</p> <p>本工事の低入札調査の段階で一般管理費を低減し応札されていることを確認しています。一般的にはこの一般管理費には本社・支店経費が含まれていますが本工事の受注実績を得たいという受注意欲から、今回の工事ではこの本社・支店経費相当分を計上せず応札したことを確認しています。なお、直接工事費などは、工事目的物の施工に必要な金額が計上されていることを確認して決定しています。</p>
(3) 調査等 (簡易公募型競争入札・不落特命対象・低入札価格調査)	
調査等名：長野自動車道 松本ジャンクション舗装・標識設計C I Mモデル作成業務	
意見・質問	回 答
<p>C I Mモデルがどれだけ正確かという検証はどのように行っているのか。例えば、座標データが間違っているかなど。</p> <p>また、C I Mモデルは、将来どのように活用されるのか。</p>	<p>過年度で実施した舗装設計や付属物設計に基づき、既に構造などが決定した2次元の設計成果に基づき3次元化する作業をしています。本業務についても、正しく3次元モデル化されているかという視点で照査を行うこととしています。</p> <p>今後3次元化モデルをどう使うかという点については、単に2次元の図面を3次元化するだけでなく、3次元モデルに設計や建設時の情報などをこの3次元モデルを使って管理する仕組みであり、3次元モデルをベースに2次元で分かりにくかったものを可視化し、設計協議などでの理解促進や、品質管理のデータや設計関係の図書を3次元モデルと紐づけて情報を管理するなど活用が見込まれています。</p> <p>試行段階であるため、今後本格的に活用していくためのノウハウを得るといふ位置づけの業務です。</p>

<p>道路だけではなく、橋梁を可視化することも実施しているか。</p> <p>その場合、例えば将来的に耐震性能などを評価するためにモデル化を使うことも考えているか。</p>	<p>今後実施予定です。</p> <p>将来的には3次元モデルを使って耐震や構造解析できるようになると思いますが、現時点ではそこまでには至っていません。</p>
<p>(4) 変更契約 (2023 年度しゅん功工事)</p>	
<p>工事名：中央自動車道 (特定更新等) 弓振川橋他 1 橋床版打替工事</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回 答</p>
<p>床版はつり深さの変更理由で、設計図書と (実際) 現地に違いがあったとされているが、設計と現地でそんなに違っていることがあり得るのか。</p> <p>監督員の発議による打合せ簿のみで工事の変更をし、上申していなかったという不適切な手続きが、金額の増加または工期が延びたことと関係あるのか。</p>	<p>設計コンサルタントの設計成果に間違いはないため設計瑕疵ではありませんが、当社が設計コンサルタントに貸与した資料において、過去に実施した床版増厚の補修履歴を反映した設計資料を貸与できなかったために、工事発注図と現場が相違していたものです。</p> <p>工法変更の手続きにおいて、上申を行い承認を得た後に現場着手するというルールどおり手続きをしていないという点は適切ではありませんでしたが、それにより工期や金額が増えたということではございません。</p>

<p>【補足説明及びその他改善検討指示事項等】</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>回 答</p>
<p>今回の審議案件については、特に指摘する事項はない。今回は事前説明を十分やっていただいたので、スムーズな審議ができたと思っている。</p> <p>コメントしたい点が2点ある。</p> <p>1点目は、冒頭で審査した案件の中で事後報告となるものは、リスト化したものを都度摘示していただきたい。</p> <p>2点目は、今回議論となったCIMモデルのような新しい事案については積算を適正化するよう工夫するとともに、1者と新しい技術を取り入れることや安く取り入れることは重要であるが、その一方で1者独占ならないよう手続きの適正化に十分注意していただきたい。</p>	